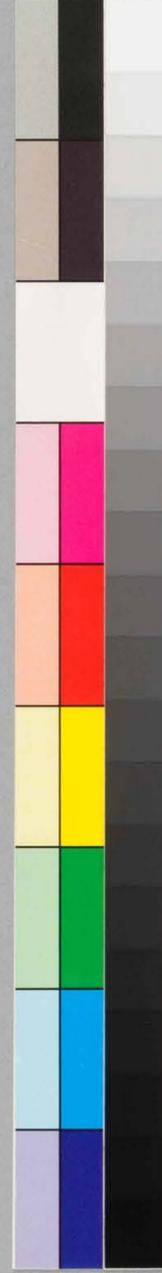


類證辨異全九集

卷之卯



- 一 腹滿門 一 下血門 六
- 二 心痛門 一 腰痛門 七
- 三 臥痛門 一 腸痛門 八
- 四 黃疸門 一 濁濁門 九
- 五 霍亂門 一 遺溺門
- 一 腹痛門 六
- 一 淋病門 七
- 一 疝氣門 八
- 一 喘急門 九
- 一 痰飲門 十
- 一 氣門 十一
- 一 秘結門 十二
- 一 諸熱門 十三
- 一 痺門 十四
- 一 痿門 十五

類證辨異全九集卷之四

脹滿門

夫陰陽下降せし中三焦相混二便通せし三脹滿之脈沈伏スルガ  
 三焦之脹トスルモ又虚スル皮ヒキハリ堅ク痛ク氣ノ道ヲ塞グ也是ハ氣ヲ升降シ  
 ヲ濕補スルニ實スル内ニ宿食ヲ積ミ邪内ニ實スルニ堅ク痛ク是ハ氣ヲ養ヒ實  
 下スル又病後脹滿出來スルハ脾主ノチナリ治シ難シ

寒暑食之三脹 冬寒ニ侵レ曾中滿ヲガリ脈沈細トシ寒脹トス寒邪ヲ温解スヘシ  
 夏熱ニマラシ胃腹堅クミチテ脈虚弱トシ暑脹トス熱ヲ醒レ温ヲ除シ飲食ニ  
 脾ヲヤリ脾虚トシ化スルヲ遲ク停滯スル即脹トス脈浮滑ナリ停滯ヲ消導スヘシ  
 氣血二虚之分別 朝ニ緩ク暮ニ急ナル血虚也 四物湯ヲ可用 暮ニ緩ス  
 朝ニ急ナル氣虚也 謂ナリ 八味順氣散佳ナリ 終日ニ急ナル氣血トモニ虚  
 スル謂ナリ 十全大補湯ヲ用ヘシ

脹之治例 肺金ヲ養テ以テ木ヲ制シ脾ニ賊邪ノウレイナカラシ腎水ヲ益シ以テ  
 火ヲ制シ肺ニ賊邪ノウレイナカラシ厚味ヲ多ク吹物ヲ忌ム  
 血分ニアラズ血ヲ通ス 氣分ニアラハ氣ヲスグラセ 積ノ脹ハ積ヲ治シ脹ヲ治

脚氣ノ腫ハ脚氣ヨリ治セヨ 水腫ハ水腫ニ隨テ治ス 婦人ノ腫ハ血腫ニ隨テ治ス  
 實蒲ノ腫ハ多ク多スベシ 虚腫ハ少ク少スベシ 寒脹ナラハアタメヨ  
 熱脹ナラハスミフスベシ 結スル者ハ散スベシ 留ル者ハメクスベシ  
 脈之逆順 浮大ハ順 壅小ハ逆

脹滿之治方

紫蘇子湯 愛思脾ヲモリ 腹脹喘悶ニ腸中鳴テ二便シテ 厥盛緊ニ瀉ラ治ス  
 蘇子一兩 大腹皮 葶藶 半夏 厚朴 木香 陳皮 木通 白朮 枳實  
 人參 甘草 右剉薑棗之類煎服ス  
 消脹丸 諸脹滿ヲ治ス 木香 大黃 茯苓 厚朴 澤瀉 馬牽牛 滑石  
 右末レ丸ニ食前ニ薑湯ニテ用ヒ  
 厚朴湯 腹滿發熱ニ陽盛ニ外熱ニ陰虛ニ内熱ニ治ス 肺必浮腫有痰虚下  
 之數熱トナス 厚朴三錢 大黃二錢 桂心五分 枳實半錢 甘草錢  
 右剉薑棗ヲ入煎ス 唾半身多加ヨ 枳實 大黃ヲ去  
 木通飲 脇肋ノ痛ミ 脹小便赤クシテ 大便結シ 或ハ浮腫スヲ治ス  
 木通 陳皮 紫蘇莖 甘草 茯苓 燈心 右等分剉薑棗ヲ入煎服ス

丹房カ奇術 腫脹ヲ治ス 藥ヲノズク水ヲ先 行義ニ云 輕粉二錢 巴豆肉 去油  
 生硫黃一錢 右同ク研テ餅トナシ 先新キ綿一片ヲ臍ノ上ニキ 彼ノ藥餅ヲ  
 齊ニテ 其ノ上ニ綿ニテスベシ 人ノ二五里ヲ行間置ル 必ス惡水ヲ瀉下ス 三度カ五度  
 討テ 藥ヲ取去シ 其後温粥ヲ食ニ補フ 久煩痛者トス日ヲ隔テ 又水ヲ去ヘシ  
 一餅ニテ二三十分ヲ治ヘシ 氣脹多ク治ス 六 陳皮ノ粉ヲ白湯ニテ  
 用ヨ或ハ丸ノモ用ヨ又紫蘇ノ粉ヲ食ニゼテ用ヨ氣必散ス

心痛門

厥負ニ痛之辨 厥心痛ハ寒邪心包絡ニ客多リ 真心痛ハ寒邪甚ト多 其君主ヲシテ  
 必手足青クシテ膝ヲ過ル 朝ニ發ク夕ニ死シ 夕ニ發ク朝ニ死ス  
 九種ノ心痛 蟲痛 疰痛 風痛 悸痛 食痛 飲痛 寒痛 熱痛 來去痛  
 新久ノ異治 身寒ヲ多ク口ニ寒冷ヲ食シ 病ヲ得タラハ當座ナラハ 温散温利スベシ 病ヲ  
 得テ久シクハ 鬱シテ蒸ス 蒸ス時ハ 蒸熱ク 若此時 温散温利ヲ行ナラズ 薪ヲ多ク  
 テ火ヲ多クカ如シ 故ニ先賢多ク山梔子ヲ以テ熱藥ノ導キトナス  
 蟲痛之外證 面白ク班ニ唇紅ク色ヲヨク 食スル蟲ノ痛ナリ 苦練根ノ類ヲ用ヘシ  
 虛證之辨 物ヲオサテ痛ニ即止 六塵ヲサシテ 二陳湯ニ炒乾薑ヲ加テ用ヨ

治例 熱入者ハサセ 寒入者ハ温ム 風邪ヲ入散ス 氣血ヲ調順セヨ

水ヲオイ去セ 瘵ヲ去セ 人參 白朮ノ類ヲ用ヘカス 氣ヲ補ヘ八綱ヨ甚

脈ノ善惡 沉細ナル者生ク 浮大弦長尤者死ス

心痛之治方

七氣湯 七情結シ 心腹痛ニ甚シキヲ治 半夏 人參 肉桂 甘草 各等

右判 薑棗ヲ入煎ソ服ス

加味七氣湯 七情痛ヲ治 心腹サレ痛ニ 或ハ外邪ニ侵レ痛ヲ治ス 半夏 三

桂心 玄胡索 各二 人參 乳香 甘草 各一 右判 薑棗ヲ入煎ソ服ス

妙香散 心氣虛シ 心ホ虚煩シ 子允事少又盜汗イテ 心痛スラハ 氣血ヲ補シ 神ヲ

安久 山藥 茯苓 茯神 遠志 黃芪 各一 人參 桔梗 甘草 各半

辰砂 三錢 麝香 別研 右細末ノ酒ニテ用ヘシ

玄胡索散 俄ニ心痛ノ久愈サルヲ治ス 玄胡索 一 甘草 三 右判 煎ソ服ス

拈痛丸 九種ノ心痛ヲ治ス 五靈脂 義木 木香 當歸 各半 右細末 蜜ニテ

丸ニ 食前ソ陳皮湯ニテ用 生薑 枳殼 湯 中脘 氣滯テ 心下引痛ヲ治ス

生薑 七 枳殼 三 桂心 五 右判 煎ソ服スヘシ

香附子散 心脾痛ニシラバガサシテ治ス 良薑 香附子 各等 右末ノ鹽湯ニテ用ヨ

婦人脾血痛ニ起ル糊ニテ及シ 空心ニ 温湯ニテ用ヘシ

香茱丸 氣實ノ心痛スヲ治ス 山梔子 炒六 香附子 六 吳茱萸 四

右末ノ丸ニ用ヘシ

心氣疼痛スルヲ治ス 檳榔ヲ煎ソ用ヨ 或ハ末ノ白湯ニテ用ヨ 妙ナリ

卒ニ心痛スルヲ治ス 挑仁 七枚 水ニテ喫ニ服スヘシ

頭痛門

頭痛 頭風之分別 頭ヲ痛ニスル物ハ 一邪ナリ 但シ邪久去留ノ分別アリ 淺

ク近キ者ヲ頭痛トス 其痛ニ卒ニ至テ解散シ易シ 深ク 遠キ者ヲ頭風ト

ス 其痛ニ雨風ニ發リヤシ 依ト止ト常ナラス

厥真ニ痛ノ異 嚴用和ガ云 氣虛ニ風寒ニ侵レ 陽經ニ傳ヘカク 唇ヲ去ス ナツキニ

外リ痛ムヲ厥頭痛ト云カレラ痛ク頭ノ中トナリ 感ニ通シ甚ク痛ハ真頭

痛ト云也 夕ニ發シ朝ニ死シ 朝ニ發シ夕ニ死ス

六經之治證 大陽ノ頭痛ハ風ヲ惡ム 厥浮也 川芎 獨活 少陽ノ頭痛ハ往來寒熱ノ脈

弦ナリ 柴胡 陽明ノ頭痛ハ發熱惡寒シテ 脈洪緩ナリ 長ナリ 升麻 葛根 石膏

大陰ノ頭痛ハ痰リ體重ク腹痛ス麻沉緩白木半夏 少陰ノ頭痛ハ足ヒエ  
氣逆上ノ脈沉細也麻黃細辛 厥陰ノ頭痛ハ項痛ニ痰涎ヲ吐キ厥冷脈浮  
緩呉茱萸

雜論 血虛ノ頭痛ハ當歸川芎 氣虛ノ頭痛ハ入參黃耆 肥人ノ頭痛ハ濕

痰ナリ半夏蒼朮 瘦人ノ頭痛ハ熱也酒製黃芩防風偏正頭痛ハ風也荆  
芥薄荷 右痛ハ痰ナリ白木半夏橘紅苓ヲ用ヒ 感寒ノ頭痛ハ振寒ノ身

ヲモシ 氣虛ノ頭痛ハ耳鳴リ九竅利セズ 濕熱ノ頭痛ハ骨ホトリ病解中ニ有  
下虚上實ノ頭痛ハ氣升テ降ラス頂々ム 偏頭ノツラムハ半分ヒイタム手足少

陽陽明ノ病ナリ 脈仰 脈浮ハ六風也滑ハ六痰ナリ昔除キ易シ 内經ニ云脈中絶ハ者頭痛ス

頭痛ニテ脈短濇ナル者死スナリ

頭痛之治方

川芎散 偏頭痛ヲ治ス 甘菊花 石膏 川芎 右等分末之茶ノウワ

清テカキタテ吞ベシ

小芎辛湯 風寒ナキニ有テ痛ミ目イ嘔吐ルヨシ 川芎三 細辛

白木 甘草 茶井一撮 右剉生薑ヲ入煎ノ食後三服スベシ

加減川芎散 風盛ニ胃塞カリ鼻塞ガリスナ出テ熱氣外リ攻メ没イテヨリ

イテ偏正頭痛スルヲ治ス 川芎 柴胡 細辛 半夏 人參 前胡

防風 枳殼 甘草 薄荷 右剉薑ヲ入煎ノ服シ

清空膏 偏頭痛正頭痛久ク愈ス熱ノ 目痛ヲ治ス 羌活 防風

黃連 醴 甘草 柴胡 川芎 黃芩 酒浸炒 右末之末ノ上スミニテ

子テ口内ニ入テ白湯三々下ス痰厥ノ頭痛トス半夏ヲ加ヨ

點頭痛散 偏正頭痛ヲ治ス 川芎二 香附子 右末之食後三茶清ニ用ヒ

石膏散 偏正頭痛ニヨクニツラリ痛ヲ治ス 石膏 鼠粘子 炒各

右末之茶清ニテ食後ニ下ス

白芷散 頭痛ヲ治ス 黃芩 酒 白芷 各等 右末之茶清ニテ下スベシ

羌活湯 頭痛シクニ痛ニ甚シキヲ治ス 羌活 防風 甘草 黃芩 酒浸一

右蠟煎ノ服ス

一方六生蘿蔔ノ汁蛤貝三ツ計リ仰卧ノ鼻ノ内ニ入ヨ左ヲ痛左ニ入ヨ右ヲ痛ハ

右ニ入ヨ左右共ニ痛ハ左右ノ鼻ニ入ヨ

痛風三九月二菊花ヲ取テ枕ニ用ヨ九良ナリ

黃疸門

五疸之因證治 黃疸ト云ハ陽明ニ熱ヲ多クシテ汗出テ水ヲアスルニ依テ熱鬱シテ汗  
 黄ナリ身ハ熱シ渴ス汗ノ衣ヲ染事キワ多ク汗ノ如シ。黄者茵陳黃疸ト  
 云ハ暴熱ニ依テ冷水ヲヒ熱胃中ニ下リ身面目黄ニ小便キワ多ク如シ。茯苓  
 柴胡茵陳枳實ノ類 穀疸ト云ハ飢テ發熱シ大食胃ヲマシ。衝疔ノ疸ト  
 ナル食スハ腹脹シ消ス目イ小便ラリ身黄ナリ柴胡枳實枳子大黃ノ類  
 酒疸ト云ハ大酒ヲム人發黄ス酒ノ性ハ大熱ナリ濕熱胃中ニタカヒ又風ヲヒ  
 キ水ニ入テ黄ヲ發ス眼黄ニ鼻瘡イデキ小便利セス胃ト足下熱シ又シテハ  
 黒疸トナル柴胡茵陳大黃黃連葛粉ノ類 丹勞疸ト云ハ大熱ノトキ房  
 ニ入。水ヲアヒ濕脾ニ入。腎虚スルニヨツテ。射シラ腎氣逆上ス。故ヒタイ黒ク身  
 黄也大麥石膏ノ類。煩渴ト腹熱脹アラハ治シ難シ丹溪カ云必シモ五等ヲ  
 分タザレ皆濕熱ニヨツテナリ。壁真麴ノ如シ。濕下熱トタカヒ氣トシラサレハ鬱  
 黄ヲ生ス。

疸之雜論 身盡痛ハ濕熱表ニリ痛ニ尤者ハ病裏ニリ 脉浮滑ニハ腹滿

嘔吐セトスルハ先是ヲ吐セヨ 脉沉滑ニハ腹滿大便結セハ必先是ヲ下スベシ  
 形表ニアラハ急ニ汗セヨ。表ニ有テ裏ニ行ハ小便ヲ利セヨ 裏ニ有テ急ニ下スベシ  
 半表半裏ニアラハ急ニ汗セヨ。黄色ハ其ミニテ自利ト腹滿ト皆熱ヲ除クベカラス熱  
 フタハ必嗽ス 脉小テ小便利シ渴甚ハ生 脉大テ大便利シ渴スハ死ス  
 越暴腸二喘滿ス者ハ危シ 寸口ニ脈ヲ奪イキヒ元氣死 口淡ク全サレキレ  
 耳鳴リ足ヲ微寒發熱ト小便白ク濁ルハ是ハ虚證ナリ。四君子湯。八味丸ヨリ冷  
 藥ヲ小便ヲ通シ過スベカス。恐クハ腎水カレツキ久多面黒ク湯出來共死スベシ  
 傷寒黃發之辨 渴傷寒ニサニ汗シキヲ汗セ。將ニ小便ヲ利スキヲ利セザレ時ハ  
 發黄ス邪熱太陽ニ傳ヘ先淋ノ黄ヲ生シ。俄ニ物ニクハ内ニ血アリ。是畜血ノ證也  
 病人三五日ニ下藥ヲ服スル。過テ脾胃虚津液ホロヒテ渴シ發黄スルナリ。是ハ  
 陰黄ナリ

黃疸之治法

加味五苓散。酒ニマラシ。數日侵シ疸ヲ發シ渴。小便澀ルヲ治ス 茵陳  
 赤茯苓 猪苓 白朮 澤瀉 右等分剉煎ノ服スベシ  
 茵陳湯。時行疫癘熱裏ニ有テ鬱蒸ノ散セズ一身悉ク黄ナルヲ治ス

茵陳二 大黃一 山梔子三 右對煎之服スベシ

黃連散ニ便結レテ方リ熱ヲ發黄スルヲ治ス 黃連 大黃 茵陳 黃芩

甘草 右末ノ湯ニ用 黃耆散 黃汗ヲ治ス 黃耆 赤芍

茵陳散 石膏 麥門冬 豆豉 甘草 右對煎入煎ノ服ス

加味茵陳散 黃疸ヲ治ス 菴藁 石膏 甘草 茵陳 木通

山梔子 六黃 右吹吸ノ薑葱白ヲ入煎ノ服ス

滑石散 女勞疸ヲ治ス 滑石 白礬 右末ノ大麥ノ粥散ニ用ヨ

小便ヨリ黄ヲ去ル 人參 白朮 白芍 黃耆 白朮

加味四君子湯 色疸ヲ治ス 甘草 芍藥 白朮 白朮

霍亂門 右等分煎ノ服ス

夫霍亂ハ湯ノ大ニ水ヲ漿ヲ三或ハ飢ノ飽食ニ寒熱調ラズ清濁相オカシ陰陽ノ  
タリ其上三風濕熱ノ三氣ニ侵レ病中焦ニ發リ吐瀉ノ痛脚揮亂變亂スル  
リ偏ニ陽ナシ多ク熱シ偏ニ陰ナシ多ク寒シ

三氣之辨 風ハ木也内肝ニ應ス筋轉ノ痛 濕ハ土也内脾ニ應ス滯脹時瀉ス

熱ハ火ナリ内心ニ應ス膈熱甚キガ故ニ吐ス 右三氣交リ痛テ霍亂ト成リ

邪上焦ニ有ハ吐ス邪下焦ニ有ハ瀉ス邪中焦ニ有ハ吐瀉ス

乾濕二霍ノ辨 濕霍亂ハ死スル者希ナリ病ヲ發ス者ヲ吐瀉ノ皆盡タル時ヤ

乾霍亂ハ吐瀉ニ乾霍亂ハ死スル者多シ上吐スルヲ得ズ下瀉スルヲ得ズ病

ヲ發ス者腹中ニ滯リ正氣隔テ陰陽ヲ閉チ寒ヲ致シ死ス早ク吐サセテ其

ハ氣ヲ提クベシ吐ラテ後下スベシ

轉筋之說 暴ニ吐瀉ノ津液頓ニ亡セ脉トチ筋燥テ故ニ筋ノ引リ絞レク

ハハハ絞リ古ク時ハ治レ難シ男ハ行ニ其ヘコトク女ハ手ニ乳ヲ引テ兩ガ

ヲ中ニ壓レ引ヨスベシ是妙法ナリ四物湯ヲ用テ酒製シ薑茶ニ紅花蒼朮ヲ加ヘ

治例 霍亂熱多ク瀉ス者ハ五苓散類 寒多ク瀉ス者ハ理中湯類

類ニ圓ニイダテ通セシ正氣散ニ枳殼ヲ加ヨカク愈テモ早ク食飲スヘカラ

不脾胃極メ損テ傳化セザルニ食胃ニ入ハ必ス危シ

脈之順逆 脈來ハ浮洪尤者瀉ベシ 微ヲ運ナルハ氣少クモノ云ハ九者ハ

治レ難シ

霍亂之治方

理中湯。中寒霍亂嘔吐ヲ治ス。霍亂吐瀉共橘紅青皮ヲ加ヘ。乾霍亂ニハ先臙湯ヲ類ニ服シ吐後起ヲ用ヨ。若カラエツカ。陳皮青皮。半長生薑ヲ加ヨ。泄瀉共橘紅茯苓ヲ加ヨ。水穀化せサルハ縮砂ヲ加ヨ。霍亂嘔吐心腹痛ニ行起七六白朮ヲサリ。附子ヲ加ヨ。霍亂レ轉筋共白朮ヲサリ。附子石膏ヲ加ヨ。若臙ノ下痛ハ腎氣ノ冷痛ナリ。朮ヲサリ。桂ヲ加ヨ。子サワカ。茯苓ヲ加ヨ。酒過ノ人。蠟共芍ヲ加ヨ。腹滿共朮ヲ去。附子ヲクエヨ。灸

黃連香需散。暑ニアリ。霍亂吐利スヲ治ス。黃連四。白朮。厚朴。香薷。右剉煎ソ服スベシ。

竹葉石膏湯。暑ニ中リ寒ヲニクス。煩渴ヲスヲ治ス。カハ傷寒ノ部ニアリ。五苓散。暑ニ中リ煩渴身熱。頭痛。霍亂吐瀉。小便アカク。スチキヲ治ス。カハ傷寒ノ部ニアリ。

麥門冬湯。霍亂イテ。煩熱レ多。渴ノ小便澀ルヲ治ス。麥門冬。橘皮。半夏。白茯苓。白朮。人參。甘草。小麥。右剉生薑ヲ入。

烏梅ソノ煎。用。木瓜湯。霍亂吐瀉。轉筋ノ亂。悶ヲ治。木茂。吳茱。茴香。甘草。右剉薑紫蘇葉ヲ入煎ソ用ベシ。

良薑飲。霍亂ヲ治ソ神効アリ。良薑。藿香。陳皮。甘草。右剉煎ソ服ス。六和湯。多ク瓜菓ヲ食シ冷ヲ吞。風ニ中リ食化せズ。上下ヲ隔テツイ。霍亂

トナルヲ治ス。半夏。杏仁。人參。縮砂。甘草。赤茯苓。藿香。白朮。木茂。右吹咀レ煎ソ用ベシ。

厚朴湯。霍亂ヲ治ス。厚朴。枳殼。良薑。朴硝。大黃。右剉煎ソ服ス。止渴湯。霍亂ノ煩渴スヲ治ス。人參。麥門冬。茯苓。桔梗。

武薑根。葛根。澤瀉。甘草。右剉煎ソ用ベシ。竹葉湯。霍亂利ノ後。煩熱燥渴。子ヲサルヲ治ス。カラ竹ヲサセソ用ベシ。

橘皮湯。霍亂カラエツキ。止ハルヲ治ス。橘皮。甘草。枇杷葉。右未レセソ。温服スベシ。

霍亂ノ轉筋。甚キヲ治スル法。急天蒜ヲ切テ。其キリ口ニテ。足裏ノミシ中

スルベシ。足温ニリ筋解ユル也。

先瀉スル大腸ノ募ヲ灸スレ臍ノ臍一寸ニアリ。男ハ左女右十四壯。先吐スルヲ巨瀉ノ穴ヲ灸スレ鳩尾ノ下一寸ニアリ。下利ヤズ。氣促ヲ治ス九壯。

腹痛門

部分之辨 臍上痛ハ心 左痛ハ肝 右痛ハ脾 中脘痛ハ脾 臍下痛

腎 已上腹痛ヲ治共宜ク是ヲ分別スレ心腹ノイタム。是氣鬱結通ラカレ

故ニ痛ハ温散セヨ腹痛下ニ有ハ 食ニ屬ス木芍香附子ノ類

腹痛之因

痼ニツテイタム

瀉劑ニツテ瀉ニ 積ニ依テイタム

腸癰アツテイタム

死血ニツテイタム

宿食ニ依テイタム

蟲發ニ依テイタム

嘔吐ニ依テイタム

治例 氣證ニハ木香檳榔香附枳殼ノ類ノ氣藥ヲ用ヨ 血證ニハ桃仁紅花當

歸川芎ノ類ノ血藥ヲ用ヨ 腹痛手ニテ重クラス虚也。參朮乾薑桂心ノ類

ヲ用ヨ 腹痛手ヲトセサル實ナリ大黃若硝ニテ下スレ 肥人ノ腹痛ハ氣虛ノ

濕ヲカス。人參半夏白朮 寒ニ侵テイタムハ乾薑桂心 傷暑ノ腹痛ハ

芍藥良薑干薑ノ類 食傷ノ腹痛ハ木香檳榔ヲ用ベシ 打撲瘀血

ノ腹痛ハ桃仁蘇木紅花當歸童便 小便利イタムハ畜血ナリ小便利セ

ズイタムハ瀉劑ノ痛ナリ腹痛ハ專ク藥ヲ用ヨ。惡寒セハ桂ヲ加ヨ。惡熱セ

ハ黃蘗ヲ加ヨ

脉例 心腹痛息ス事ヲ得ス脉細小遲ナ者ハ生ク 堅大ヲトキ者ハ死

腹痛之返テ脉浮大ヲ長ルハ死

腹痛之治方

檳榔丸。酒積腹痛スルヲ。氣ヲ緩クス藥也。檳榔 三棱 莪朮 香附 官桂

蒼朮 厚朴 陳皮 甘草 茯苓 木香 右等分ニ末ヲ神麴ノ糊ニテ丸シ白湯

ニテ服

腹痛ヲ治スルニ細石菖蒲ヲカテ水ニテムシ

淋病門

諸方ニ五淋ノ論アリ。感不潔一ナラザリナカラ病ハ皆熱鬱ノイタム。屢ニヨル或ハ冷

ト云ハ誤ナリ。殊ニラズ小便クダリ。淋瀝疼痛。是ヲヨラズ。必ズ身ノイタム。口

ハ。故ニ冷ニ似タリ。モシ誤テ冷トセバ。此不明ナリ

五淋之證 氣淋ハ小便シテ常ニ餘瀝アリ 石リハ莖中痛ニ小便卒ニ出ス。是

ハ膀胱ノ畜熱也 血リハ熱ニ逢フ時ハ發リ甚キ時ハ溺血ス 膏リハ小便油

ノ如クヲ出 勞リ六辛 勞スル時ハ發リ小腹ノ下ニ引痛

上下氣血ノ分別 病上焦ニ有テ氣分煩ハ必渴ス 病下焦ニ有テ血分ヲ

煩ハ渴セズ 凡小腸ニ氣有テリスル小便必澁ル也 小腸ニ血有テリスル

小便必澁也

血淋尿血之辨 小腸ニ熱有テ痼示便シテ血リト云 痼ニズレバズノ通

スルヲ尿血ト云 血リシテ痼アヤカ丸血ヲ下スハ小腸心ノ實熱ナリ 色タマリ

血ノ如クナル腎膀胱ノ虚損冷ナリ

治例 凡淋ヲ治スルハ滯氣ヲ流行シ小便ヲ通ジ 雜熱ヲ清解シ心火ヲ調平

ス心スレキ時ハ小便自ラ利シ心平ナル時ハ血亂シテ又補氣ノ藥ヲ用カラス氣

ハ補ヲ得テ彌ヨ滿ル也 血補ヲ得テ彌澁ル熱ハ補ヲ得ハ彌盛ニテ水道

行スレカノミナラス大便ヲ塞リ治シ難シ小便通セサル者ハ吐法ヲ用テ其氣ヲ

提シ氣升ル時ハ水自ラ下ル氣虚共ハ人參黃芪升麻ヲ先服シ後吐スレ血虚

共ハ四物ノ類ヲ先服シ後吐スレ痰多クニ陳湯ノ類ヲ服シ後吐ス寒熱アル者ハ

是ヲ利スレ 胞轉之論 強テ小便ヲヨシハ小便急テ車ク起リ或ハ飽食ノ小便ヲヨシハ飽食志

過ノ小便ヲヨシハ或ハ小便ヲヨシテ房入 右カク如ク水氣余リ逆シ氣

胞中ニ世リ屈戾ノ心通セズ臍ノ下急痛ノ水ニ通セ若シ甚シ胞ヲツル者

ハ即死ス

淋病之治方

清心蓮子飲 上盛ニ下虚ニ心火炎上ノ口苦ク咽乾キ小便赤ヲ淋トナルヲ治

黃芩半 黃耆 蓮肉 白茯苓 人參各七 麥門冬 甘草 炙 地骨皮

車前子 右剉煎用之 發熱共柴胡薄荷加之

八正散 心熱ニ藏府シテ小便赤クシテリトツルヲ治 車前子 瞿麥

扁蓄 滑石 甘草 山梔子 木通 大黃 右各等分剉燈心

ヲ入煎用之 熱淋ニモヨシ 陳皮 香附子 赤茯苓 各等 右剉

通淋散 血淋イタニヨラカカヲ治ス 赤茯苓 赤芍 山梔子 生甘草 當歸黃

五淋散 諸淋ヲ治ス 赤茯苓 赤芍 山梔子 生甘草 當歸黃

人參 白朮 木通 山梔子 各等 右剉煎服スレ

導赤散 心虛 瀉熱 小便赤 淋瀝 瀉 瓜 瀉 生地黄 錢 木通 錢 甘草 錢

右劉竹葉ヲ入煎ノ用

立効散 淋閉 久 三時 尿血 下焦熱 瓜 瀉 瞿麥 山梔子 甘草

右劉煎ノ服ス

葵子散 小便通 葵子 茯苓 右吹咀ノセシレ服ス

火府丹 心熱 小便赤 及 淋瀝 木通 黃芩 生乾地黄 兩

右末レ丸ノ木通ノ煎湯ニテ用ベシ

通心飲 心經熱 唇舌 面赤 小便通 木通 連翹

右各等分麥門冬湯ニテ調下ス

如神散 心熱 熱血 侵 血小腸 二 故尿血スルヲ治ス 阿膠 炒 二

山梔子 車前子 黃芩 甘草 右末ノ井花水ニ調下ス 日ニ三服

犀角地黄湯 小便淋瀝 血ヲ出 甚痛 及 心 亂 行 鼻 血 出 治 方

八傷寒門ニアリ

疝氣門

凡疝痛ハ濕熱痰積流下ノ病ヲ云 或ハ寒鬱ニ依テ發リ食積ヲ云 或ハ死血ナリ

多ク肝經下腎經下絶スルニ下チ宜ク下スベシ

七疝之證因 寒疝ハハユヒ 結 堅 石ノ如ク陰莖上ニテ痛 三五ニヒク 是ハ水ヲ

渡リ濕ニ坐卧シ風冷ニ感 是ヲ得テ 溫ニ下スベシ 水疝ハハ腫 痛 陰

汗イテ或ハカクホカニヲオセ水ノ聲アリ 是ハ水ヲ吞ニ酒ニエイ汗イテ風ニ中

リ濕ハハユニアル水ヲ進テ藥ニ下スベシ 筋疝ハ陰莖上ニテ痛 筋ニ

リ莖中痛ム疝ニ極テカチ 白物小便ニ隨ヒ下ル旁勞ニ得テ 降心ノ劑ニテ

下スベシ 血疝ハ形チ黃瓜ノ如クホカニヲ兩傍横骨ノ兩ハニ約中ニナリ 是ハ温

熱ノ時房勞ヲ過ニ得テ 氣血ハユニモ入テハレニ少多血多シ血ヲ和テ藥ニテ

下スベシ 氣疝ハ上腎區ニ連リ下ハユニ及テ強ク怒ニヨリ氣鬱ノ脹ス怒リ止バ

氣散ス氣ヲ散ズルノ藥ニ下スベシ 狐疝ハ形瓦ノ如ク卧バホカニ入り立行ス

レホカニヲ出テハユニ入り後ハ晝ハ穴ヲ出テ小便シ夜ハ穴ニ入テ小便セズ此疝

己ニ似タリ氣ヲ追ヒ經ヲヌクスノ藥ニ下スベシ 癰疝ハハ腫テ升斗

ノ如シ痛ムスカユカラス地氣ノ早濕ニ侵テ得テ 濕ヲサル藥ニ下スベシ

又七疝之證 厥疝ハ心痛 足ヒ 食ヲオワレ即吐ス 癰疝ハ腹中ニ乳ツリ

臂ノナカサノ如シ 寒疝ハヒユタル食飲ヲ用レハ俄ニ心腹ヒキ痛ム 氣疝ハ忽ニ

三手忽三藏ノ痛ム 盤疝ハ腹中イタミ臍ノカタワラニヒク 附疝ハ腹イタミ臍ノ下ニ連リ積聚アリ狼疝ハホカニトヘタリ間ヲ引テイタム 疝例 牢強ニ急ナル生ク 虛弱ナル者ハ死ス

疝氣之治方

茴香散 疝氣ノ痛ヲ治ス 杏仁 茴香 葱白 右末ノ酒ニカキ

夕テ先クニ食レ即藥ヲ吞ナリ

加味通心散 腎膀胱實熱ノ小腸ノ氣痛ニ通セラル治ス 瞿麥 木通

枳子 黃芩 連翹 甘草 枳殼 川練子 各等 右生燈心ヲ入煎ソ服ス

立効散 疝ヲ治ス 川芎 靛皮 川練子 茴香 桃仁 黑牽牛 各等

右剉煎ソ用ヘシ

茴香散 膀胱ノ氣ノ痛ヲ治ス 茴香 義木 三稜 金鈴子 肉苳 甘草 兩

右末ノ酒ニ用ユル毎ニ連日ニ三服

或人膀胱ノ氣痛ニヨラカラス醫者剛劑ヲ與テ痛三彌甚シ小便三日通セス

臍ノ下脹モ多ク各醫面赤ク黒ク臍大ナルヲニテ云ク是ハ熱藥過テ陰陽ヲカ

リ氣通セスハ五苓散ニ煎ノ白根ヲ入茴香鹽カヲ加テ數服ヲ用テ小便墨汁

ノ如シ即臍ノ下緩ク眠ヲ得テ次日臍平ナリ

喘急門

喘之諸因 奇効良方之論 風寒暑濕ノ邪氣肺ヲオカノ脹滿ノ喘

七情ノ氣五藏ヲ傷リ鬱ノ痰ヲ生ソ喘ス脾腎上モニ虚シ體弱ニヨツテ

ニ身ノ痰ヲ収メ養フニ喘スル者アリ 脾濕腫滿レ水氣肺ニ乘ソ喘

スル者アリ 肺虛ノ風邪肺癰ヲ侵シ氣留リ升リ付テ喘ス者アリ 諸喘

ハ熱多リ火熱ハ陽也スニ急ニ事ヲ至ル火上ニ動ソ喘急ハ發ルナリ 醫

ハ夏ノ熱甚キ時息早クアラキカ如シ喘ノ熱多ク疑ナシ

治例 風寒傷ハ必上氣急ニソラズ喉ノ中ニ聲アリ或ハ聲出スハ三拗

湯ノ神祕湯ヲ用ヘシ 喘ノ痰多ク蘇子降氣湯ノ類ヨシ 虚ノ喘ニ麻

ニ面青ク黒ク厥冷シ小便多キハ五味子湯ノ類ヲ用ヘシ 上氣レ喘ニサワガシ

キハ肺ノ滿ルナリ風水トナラズ也必汗ヲ發ソヨシ 内鬱スル者ハ調ハ順ス

ルヲ先ト甘 陰血虚少ニ上喘共陰ラシ血ヲ養フ藥ヲ用テ治スヘシ 仲

景カ云發汗油ノ如ク出テ珠ニ似テ流ス喘急止ザル者ハ治スベカラズ又曰

産後ニ下ス多ク榮氣ニツキ衛タヨリナク獨リ脾ニ聚ル故ニ喘ヲ發スル



也起ヲ孤陽絶陰ト名ク治レ難シ 久年病氣虚ノ喘せ人參五味子阿膠之類 新病氣實ノ喘ヲ發せ桑白皮葶藶ノ類 脈之逆順 喘ニ脈滑ニ手足アタカナル者ハ生ク 脈濇ニ四肢ヒユル者死ス 脈數尤者ハ死ス

喘急之治方

神氣湯 上氣喘急者ヨリ子ヲテハルヲ治ス 陳皮 桔梗 紫蘇 五味子 人參 各等 右對煎ノ食後ニ服ヨ 五味子湯 喘促脈伏ニ數ナルヲ治ス 五味子 人參 麥門冬 杏仁 橘皮 各二 右咀咬ノ薑棗ヲ入煎服ス

定肺湯 上氣喘急スルヲ治ス 紫苑 橘紅 杏仁 五味子 枳殼 半夏 桑白皮 紫蘇子 甘草 各一 右對ハレカニ此系蘇葉ヲ入セ用ベレ

加減瀉白散 上氣喘急ヲ治ス 青皮 桑白皮 知母 地骨皮 陳皮 桔梗 黃芩 甘草 各三 右對セテ食後ニ服ス

平氣散 人アリ年五十三ヲ肥チ酒ヲ過シ美食スニ依テ腹脹滿ノ喘聲家外ニキヨク安卧スルコトナラズニ便溢リ氣只脈ノ大ナ事ハ人迎ニ兩倍セリ 關脈沉緩ヲカアリ此此前三劫ニ依テ初秋ヨリ山中ニイリ八月月中ニ長

雨セリ醫者霖雨ノ濕ト飲食ノ熱トニヤラズ濕熱ノ火成ニ升テ肺ヲセセル事シテ神氣ニ交レサワガシ多 喘滿ス邪氣盛ナル時宜ク下スベシ故ニ此方ヲ立テ是ヲ下ス 白牽牛 頭末二兩 大黃 陳皮 青皮 檳榔 各三 內經ニ云肺ハ氣ノ逆上スルヲ苦ク急ニ苦キヲ食ソ以テ是ヲ瀉ス故ニ牽牛ノ寒苦ニテ氣分ヲ瀉ス濕熱升リセ故ニ是ヲ君トナシ陳皮ハ苦温ニシ體輕ク浮フ故ニ是ニテ肺ヲ扱テ青皮ノ苦辛ニテ肺中ノ滯氣ヲ散テ二味ヲ臣トス檳榔ノ辛温性ハ沉ニ重シ是ニテ痰ヲ下シ氣ヲ下ス大黃ノ苦寒ニテ實瀉ススキ流ス此二味ヲ使トセリ 右細末ノ薑湯ニテ調下ス 一服ニテ病半減スニ服ニテ喘愈多リ只胃イキ熱占乾キ時ニ咳ス加減瀉白散ニテ悉ク愈多リ

痰飲門

諸痰之由來 氣脈ヲ塞カリ津液通ゼズ水飲停留ニ結シ痰トナル者アリ 胃氣虚弱ニ水穀ヲ運行セズ痰トナル者アリ 酒後ニ水ヲニ脾胃ニ停メ痰トナル者アリ 風寒濕脾ノ藏ニ相搏テ痰トナル者アリ 夫人ノ脾胃ハ倉廩タリ以テ穀ヲ入脾濕ノ穀氣ヲ運行セズ故氣血凝滯養ヲ失テ用

流せ中焦敷ラト口カシナサズツイニ停滯ス或ハ七情ニヨリ飲食ニヨリ  
勞役ヨリ濕熱内ニ發リ風寒外ヨリ侵セ皆痰飲ト成也

四飲之證 痰飲ハ本ハ盛ナレ居今ハヤセ腸胃ニ水ノ聲アリ 懸飲ハ香々  
ル水脇下ニ流レ咳唾ニヒキ出ス 溢飲ハ水手足ニ流レ汗スベク汗せ身  
重シ 支飲ハ咳逆シ物ニヨリカリ。息苦ク腫ク如クニノ眼コトヲ得ス  
已上合テ四飲ト云

六證ト云ハ上ノ四飲ニ飲ヲ加テ也 皆飲ハ背寒ル軀骨ノ大サホト息短ク  
ノ渴レ手足ノ骨節イタニ腹痛痛ニテ。欬益ニヒキ咳スル時痛ニ甚レ  
伏飲ハ膈滿嘔吐ニ喘咳ス發ル時ハ寒熱ノ腰痛三決イツ

痰ヲオイ氣ヲ順スル前後 氣ノ真順ヲ貴フ順ナレ津液通シ痰病ナレ先  
氣ヲ順シ後證ニ隨カヒ汗下濕利ヲ用ヨ是ハ氣ノ不順ナレ依テ痰ヲ生シタ  
ル故ナリ病人モトヨリ痰積アリ其氣痰ニ依テ結滯スル者ハ氣ヲ順スル計  
リニテ多行ス必ス先ツタニ結ヲオイ失フ時ハ滯氣自ラユナリ

東垣カ五痰論 濕心經ニアル熱々下成リタニ結ソニカワノ如ク色紅ナリ濕肝  
經ニアル風々下成リ。青々下成リ。濕脾經ニアル濕々下成リナル濕久シ其色  
黃ナリ 濕肺經ニアル氣々下成リ色白ク吐キ出サ米粒ノ如ク 濕腎

經ニアル寒々下ナル色黒ク唾ノ如ク 治法或下シ或汗シ或ハ温ヌ或ハ  
利スベシカリナカク先氣ヲ順シ其後證ニ隨ヒ分導スベシ

痰清濁新久ノ辨 世俗清白ヲ寒トナシ黃濁ヲ熱トナス殊ニレラス始ハ清テ白ク  
久シキ時ハ濁テ黄ナル事ヲ救フニテ安キ者ハ清テ白ク咳ノイテ難ハ黃濁ニテ

結滯ス 諸證痰ニ依テ是ヲナス 頭風眩暈口眼痙攣眉稜手輪痛ニカク喘咳手  
足ハ堅ク痛ムニ依テ痛ニズ咽物アツテ吐モ出ス香トモ下ラズ心下氷ノ如クヒ  
三身ノ義ハ心カニ卧カ如ク眼ニケリカク骨ヲドリサキ臂イタミアカラス 已  
上皆タラシワサナリ

龐安常カ云人身ノ倒上ノ痰ナク天下ニ逆流ノ水ナキ誠ナルカナ此ノ事頭風或ハ  
肩稜角イタムニ類ニ風藥ヲ用テ馬無キニハ痰藥ヲ服シ多ク驗アリ眼赤ク  
澁リ痛ニ涼藥ヲ用テ息尤ニハ痰藥ヲ用テ愈ル事ヲ得タリ

丹溪カ云ニ陳湯ハ一身ノ痰ヲステ皆作ス若シ下ニヤラテ思ハ引下ノ藥ヲ加ヨ升  
世ト思ハ引上ノ藥ヲ加ベシク痰ヲ治ス者ハタラシ治セズ氣ヲ治ス氣順スル

辨公一身ノ津液氣ニ隨テ順テ云人身ノ中結樹ナツテ痛ニ紅ナラズ膿ニシテ  
有ハ皆タシキリ

有是ラ申スベシ病人短氣ニ手足ノ節痛ニ脈沉ナ九者ハ留飲アル也

痰飲之治方

潤下極濕タシラ治ス 薤白 半夏 枳實 貝母 右抹ノ丸ス瓜葉

仁青黛ヲ燻テ熱タシラ治ス

中和丸。濕痰ヲ治ス 蒼朮 薤白 半夏 香附子 右末ノ丸ニ薑湯

ニテ用ヘシ

瓜葉丸。食積痰ヲチカリ。トゴヲリ。喘スヲ治ス 瓜葉仁 黃連 半夏

右末ノ丸ニ用ヘシ

化痰圓。停滯宿飲ヲ去 半夏 人參 桔梗 茯苓 前胡

白木 枳實 甘草 香附子

薑湯ニテ用ヘシ

枳殼半夏湯。熱痰ヲクキ氣ヲ降シ中ヲ緩クシ四月ヲ利シ上ヲ涼フニ疾

蒲ヲ治 枳殼 半夏 黃芩 桔梗 甘草 右剉桑白皮五寸烏

梅一投ヲ加テ煎ソ用ヨ

二陳湯。痰ニ依テ或ハ嘔ニ眩悸ヲ中脘心ヲラサルヲ治ス又生冷ノ物ニ傷テ酒

過ノ痰ヲ治 半夏 橘皮 白茯苓 甘草 右剉生薑烏梅ヲ

入煎ソ服ス

橘皮半夏湯。冬寒カリ久ク涎嗽スルヲ治ス常ニ服スハ液ヲ養ヒ燥ヲ潤

心肺熱解シ咳嗽ヲ止ム 橘皮 半夏 湯洗テ灰 右剉薑ヲ入セテ服ス

省風湯。痰厥ヲ治ス 半夏 防風 甘草 右剉薑ヲ入セテ用ヘシ

前胡半夏湯。タシ盛テラ治 前胡 半夏 茯苓 陳皮

枳香 紫蘇 枳殼 甘草 右剉煎ソ服スベシ

桔梗湯。胃膈脹滿ニ多盛ニ氣短ク咽涎アルヲ治ス 桔梗 半夏

陳皮 枳實 右剉煎ソ服スベシ

導痰湯。諸タシサカリ盛ニ膈飲痞塞スルヲ治ス 半夏 天南星

枳實 赤茯苓 橘紅 右咀吹ソ煎シ食後ニ用ヘシ

檳榔散。膈痰嘔逆シ不食シ方驟ク腹鳴ルヲ治 檳榔 杏仁

半夏 赤茯苓 陳皮 人參 白木 右咀吹ソ煎シ溫服スベシ

水玉湯。肩脊骨痛。三ツラカサレヲ浴ス。是ハ痰厥ナリ。半夏湯。三ツ洗下  
七度切テ片トナス。右毎服三錢水一升。生薑ヲ入セシメ食後三服スヘシ

氣門

五氣之論。喜テ虚スルハ腎氣乘ス。憂テ虚スルハ心氣乘ス。怒テ虚スルハ肺氣乘  
ス。悲テ虚スルハ肝氣乘ス。恐テ虚スルハ脾氣乘ス。丹溪ガ云。身ヲ周流シ  
以テ生ラヌ物ハ氣ナリ。陽ユク則ハ陰來リ。陰ユク則ハ陽來リ。一升ニ降ノ極  
リヤ事ナシ。内七情ヲ動セ。外六淫ニ感セ。其氣何ノ病ト云フカ有。世  
ニ冷氣滯。氣逆。氣上。氣ト云。皆肺火邪ヲウケ。炎上ノ化ヲ得テ升ルコト  
有。テ降ルコトナシ。甚シクハ上焦ヲ焦ス。中焦ヲ化セ。下焦モニササルニ至ル。  
變ノ諸病トナシ

九氣ノ説。舉痛論。二曰。百病ハ氣ヲ生スト。怒ル則ハ氣升リ。喜テキハキユルシ  
悲テキハ氣消ス。恐ル則ハ氣降ル。寒ルトキハ氣ヲサレ。臭キ則ハ氣離ス  
驚ル則ハキニアル。勞ルトキハ氣耗ス。思フトキハ氣ムス。已上九氣ノ不同ナ  
リ。然ニ諸氣動シ。發シ。皆熱トナリ。子和カ云。天地ノ氣常ナクトキハ安ク。變  
ズル則ハ止ム。人ハ天地ノ氣ヲウケ。五運多クハ二外ヲ侵シ。七情モク内ニ多ク。故  
ニ舌入ハ氣ヲ惜ムコト。至寶ヲ持カシ

脉例。經二曰。脉滑。九者ハ血多。氣少。脉澀。九者ハ血少。氣多。七者ハ血  
者ハ氣血トモ多シ。脉來ル事。大シカキハ血氣共ニ實ス。脉小ナル者ハ氣血  
共ニ少ナリ。脉來シ。細シ。緩シ。九者ハ血氣共ニ虚ス  
治例。大抵氣鬱スルコト。上ニアラズ。宜ク散スヘシ。氣鬱スル下。下ニアラズ。ハサニ  
利スヘシ

氣之治方

異香散。腎氣和セ。腹脇フク。食化シ。堅ク。噫ハ酸ク。冷氣結聚シ。腹痛ス  
少。治入。蓮肉。菝葜。益智。三稜。甘草。各三。青皮。陳皮。  
厚朴。各一。右剉煎ノ用シ  
七氣湯。七情氣鬱シ。心腹コリ。痛。薑。キヲ治ス。人參。肉桂。甘草。各  
半。夏。炮。半。右剉煎。食後三用ヘシ  
沈香降氣湯。陰陽ヲカキ。滯リ。升降セズ。解ヲサカリ。喘促シ。噫ハ酸ク。脇妨ヲ  
治ス。沉香。縮砂。甘草。各三。香附子。十。右細末。鹽湯ニテ調ス  
分氣紫蘇飲。男女脾胃不和。胃中セ塞カリ。脇痛。三喘。脹シ。不食。嘔吐ス

ルヲ治ス 紫蘇 五味子 桑白皮 陳皮 桔梗 草菓

大腹皮 茯苓 甘草 右各等分煎ノ用ニ

四七湯 七情結ノ痰トナル形ヲ極ノ如シ或ハスル綿ノ如ク咽ニ有テ吐トモ出

ズノトモクダラス嘔逆スルヲ治 半夏 厚朴 茯苓 紫蘇

右對煎ノ食後ニ用

寬中湯 氣升降セズ痰涎鬱ニ塞カリ食飲化セサルヲ治ス 檳榔 半夏

木香 各二錢 青皮 陳皮 各半 右末ノ麩ノ糊ニテ丸ニ食後ニ用ニ

秘結門

諸秘之證治 風秘ハ風痰大腸ニ結テ通セズ風ヲ散セヨ 氣秘ハ氣ノ滯

ルニ依テ後重セリ痛ニ煩悶脹滿ノ大便ケウス通ズニ 寒秘ハ老年

ノ入腸ヒエ痰癖結滯シ糞ケウス温ニ 虛秘ハ年々タケタ人ノ或ハ津液

ニ血少ノ腸胃力弱ニ滯スニ 熱秘ハ大腸實熱ニ氣ヲチガリ通セズ

心腹煩悶ノ大便ヒエ熱ヲ涼フスニ 濕秘ハ腸胃濕鬱ヲラケテヒス濕ヲ通利

セヨ 陽結スルヲ散スニ 陰結スルヲ温ムニ

治例 小便自利ノ大便力タクハ下スヘカラス必潤ニ 食物アツテ大便ケセハ是

シ下スベシ 實熱トヒセハ必瀉甘大黃枳實黃芩 血液虛少ヲ秘セハ必

ス潤セ 桃仁陳皮杏仁 風秘ハ陳皮防風杏仁 檳榔大黃 老人ノ乳

ノヒセハ陳皮杏仁蘇子木瓜沉香檳榔積滯ニ秘ハ青皮檳榔木香巴豆

義木大黃 濕秘ニハ檳榔ヲ用ニ 婦人産後氣血虚ノヒセハニタリニ

疎下ノ藥ヲ用ヘカラス恐クハ元氣ヲヤラシ 只氣血ヲ調ヘ燥ヲ潤シ儘ク

潤ニ風ヲ散ル則ハ必ス自ラ通ズル也

秘結之治方

牛黃散 上焦熱ニ藏府秘結スルヲ治ス 大黃 白牽牛 右末ノ温湯ニ

調下ス

麻仁圓 腸胃熱燥シ大便秘結スルヲ治ス 厚朴 枳實 杏仁

大黃 一介 麻仁 五兩 右末ノ蜜ニテ丸ニ温水ニテ用ニ

橘杏丸 老人氣秘ノ大便通セサルヲ治ス 橘紅 杏仁 各等 右末ノ丸米飲ニ

テ用ニ

大黃飲子 身熱ノ煩躁シ乾テ大便通セサルヲ治ス 大黃 杏仁 枳殼

枳子 升麻 生地黃 各一 人參 黃芩 甘草 各五分 右對煎ノ服ス

孟詵云大便通せし氣奔テ死セントスルヲ。治スルニ烏梅十顆ヲ以テスルニ浸シ  
須臾三捫テサチヲサリ。細末ノ丸ニ東木トニ。肛門ノヲ入テ。暫クオケル  
即通ス

諸熱門

五藏之熱證 肺熱スル皮毛熱シ。喘咳寒熱ス。心熱スル肺熱シ煩心心痛

之掌中熱ス。脾熱スル肌肉熱シ夜甚シク急情ノ四肢収マラス

肝熱スル筋熱シ寅卯ノ時甚シク眩暈多ク怒リ手足熱シ筋ナユル也腎

熱スル骨髓熱シ骨中蟲ノクワカ如ク起テイラズ

諸經之熱證 面熱スル足ノ陽明 口中熱シ手ハ足ノ少陰 口熱シ舌乾

足ノ少陰 耳前熱スル手ノ太陽 掌中熱スル手ノ三陰 足下熱シ痛ハ足ノ

少陰 身子ツレ骨痛ハ手ノ少陰 洒淅寒熱ハ手ノ太陽 中熱シ喘スルハ

足ノ少陰 身ノ前熱スルハ足ノ陽明 一身熱シ物ニアルトツクハ足ノ

陽明 肩背足小指ノ外ノカク腕ノ内踝ノ後熱スルハ足ノ太陽 肩ノ上熱シ肩

又クル如クナルハ手ノ太陽

内經ニ曰 陽盛ナル則ハ外熱シ 陽虛スル則ハ外寒シ 陰盛ナル則ハ内熱シ 陰虛スル則ハ内寒シ

虛スル則ハ内熱ス 内外皆熱スル則ハ喘ノ渴ス 故ニ冷飲ヲノム

氣血兩熱ノ異 晝熱シ夜静ナル是陽自ラ陽分ニ旺ス晝ハ静ニ夜熱燥ス

ハ是陽陰中ニ陷下ス熱ハ血室各ツク 晝夜同ク熱燥スルハ是重陽無

陰ナリ。急ニ陽ヲ瀉シ陰ヲ補フ

積熱之論 奇効良方言心脾瀉シ積熱スル則ハ口苦ク咽乾ク涎唾ヲハリ痰

多シ心氣ハ舌ニ通シ脾氣ハ口ニ通ス熱ト燥ト相合テ受制ス所ナシ故ニ

口舌ニ瘡ヲ生ス小便秘澀ス是傷寒ノ熱證ニアラス風邪ノ熱ニアラスコト即

積聚スルノ熱ナリ

治例 黃連ニテ心火ヲシヤシ 黃芩ニテ肺火ヲシヤシ 白芍藥ニテ脾火ヲ瀉シ

知母ニテ腎火ヲ瀉シ 木通ニテ小腸ノ火ヲ瀉シ 石膏ニテ胃火ヲ瀉シ 黃

蘗ニテ膀胱ノ火ヲシヤシ 黃芩黃連ニテ大腸ノ火ヲシヤシ 柴胡黃連ニテ肝膽

ノ火ヲ瀉シ 炒黃柏ニテ相火ノ有餘ヲシヤシ 柴胡黃芩ニテ三焦ノ火ヲシヤ

スシ 若シ陰虛シ陽強ノ相火盛ニ陰ヲ侵シ漸ク炒乾シ血虛スルニ甘

寒ノ劑ヲ用テ當歸地黄ノ類 若シ心火カブリ熱シ内實セハ陽強ノ病

トナシ鹹令ノ劑ニテ下スシ 大黃朴硝ノ類 若シ腎水傷ララズ其陰



守ヲ失シ無相ノ火。虚炎ノ病ヲナサハ水ヲ盛ニスルノ藥ニテ割スベシ。生地  
 黃玄參多類多ルベシ。若飲食勞倦スル則ハ内元氣ヲ乏ル。火兩ヲ立セ  
 ス。陽虚ス甘温ニ宜シ。黃耆人參甘草ノ類。苦干物ハ藏ヲ治ス。藏ハ  
 陰ニ屬ノ内ニ居ス。辛物ハ府ヲ治ス。府ハ陽ニ屬ノ外ニアリ。内熱スル  
 者ハ下ス。外熱スル者ハ發スベシ。

諸熱之治方

凉膈散 大人小兒藏府ノ積熱煩渴唇焦咽乾目赤鼻衄痰實利  
 せズ。睡卧ノ謔言レ腸胃カワキニ便結スルニヨシ。大黃 朴硝 各一  
 甘草一分 山梔子 黃芩 薄荷 各二 連翹 二 右剉竹葉ヲ入煎ノ用ヘシ  
 三黃丸 諸熱ヲ治ス 大黃 黃芩 黃蘗 各等 右未丸ノ服ス  
 黃連解毒湯 黃連 黃柏 黃芩 山梔子 各二 右剉煎ソ  
 食遠ニ服ス  
 清涼飲 大黃 赤芍 當歸 甘草 炙 右各等分煎服ス  
 犀角散 犀角 鎊 黃連 大黃 芍藥 甘草 右等分剉煎ソ温服ス

大金花丸 諸熱ヲ治ス 黃連 黃柏 黃芩 大黃 右細末ソ  
 丸シ新水ニテ用大黃ヲ去梔子ヲ加梔子金花丸ト名ツク  
 荆黃湯 風熱結滯レ或ハ瘡癤ヲ生スルヲ治ス 荆芥 四 大黃 一  
 右剉煎ソ服ス

痺門

風寒濕ノ三氣五痺ヲナスノ論 春得ル則ハ筋痺トナル肝中筋攣  
 ス夜卧ノ驚キ飲食多ク小便シクシ 夏得ル則ハ血痺トナル心中テ  
 血脉通セズ。胸膈ヲリ逆喘レ咽燥キヲクヒス 土用ニ得ル則ハ肌痺トナル  
 脾中テ手足怠惰ノ嘔逆ス 秋得ル則ハ皮痺トナル肺中ニ故ニ皮  
 覺エズ。煩滿ノ嘔レ氣走痛ム 冬得ル則ハ骨痺トナル腎中テ骨重ク  
 舉ラス故ニ行歩カナラス 風勝則上下ニ走リウツリ筋ヲサシ  
 ラズ 寒勝則ハ手足ヒキツリ。痛ミツキツリ腫レ也 濕氣滯テウツラサバ  
 汗多ク手足ユルリ弱ク。皮膚ヲ赤エ精神クラレ  
 五證 骨ニアルハ重ク舉ラス 肤ニアルハ血ヲ流シ筋ニアルハ屈シ肉ニ  
 アルハ身トモ覺エラズ 皮ニアルハヒエ寒ニアエハ急ニナリ。熱ニアエハユル



凡痺ノ證痛ハ寒多シ痛マズ身トモヲホエハハ病ノ深キナリ榮衛シテ  
經絡通ゼズ皮膚層ヲイトナマズ痛ニス身トモヲホエラヒヌナリ  
脉經ニ曰ク脉道ニテ緊ハ痺ノ病ナリ

痺之治方

升麻湯 肌熱シヒヒ體上ヲ蟻ムカ如ク唇ソリ色變スルヲ治ス

升麻三 茯苓 人参 防風 犀角 羚羊角 羌活 官桂 兩

右剉煎ソ用

當歸湯 肺痺上氣シ胃腸ニテ塞カリ卒ニ發リ卒ニ病不食シ唇口乾キ手足

冷痛ヲ治 當歸 防風 黃香 杏仁 黃芩 細辛

麻黄製人參 桂心 三 柴胡 兩 半夏 兩 右咬咀煎シ温服ス

茯苓湯 停痰支飲手足スクシヒ多ク眠リ眩冒スラ治 半夏

茯苓 陳皮 枳實 甘草 兩 右剉煎ソ用

枳實散 心痺胸中氣カタクイタミ氣短ク咳唾ニモ痛ニ食飲スニハルヲ治ス

枳實 桂心 細辛 桔梗 青皮 兩 右剉煎服ス

枳實散 胃ニヒ臍下堅ク塞カリ胃背拘急スラ治ス 枳實 赤茯苓

前胡 陳皮 兩 木香 兩 右煎食前二服

枳實散 胃ニヒ痛ヲ治ス 枳實 蘇炒 官桂 兩一分 右細末ノ橘皮ノ煎

湯ニテ用空心日午卧時

諸證ニ隨ヒ用ヘキ藥劑 熱痺ニ外麻 羚羊角 冷痺ニ桂心 當歸

痛痺ニ川芎 當歸 血痺ニ杏仁 當歸 芍藥 痰痺ニ半夏 枳實 行

痺ニ防風 苜蓿 著痺ニ茯苓 桑白皮 筋痺ニ羚羊角 獨活 牛膝 意

苳 右證ニシテカク消息シ剉煎用ヘシ

痿門

五痿 肺熱葉赤ル五臟ニ依テ起シ多ク發シ痿厥足ト丸 心氣熱シ脉

痿ヲ生ス足ヨクク地ヲフミ得ス肝氣熱シ筋痿ヲ生ス宗筋ユルル 脾

氣熱シ肉痿ヲ生スシヒテ覺テス腎氣熱シ骨痿ヲ生ス足身ニ隨ハ

痿證之由來 金ノ性ハ乾テ上ニ居ス氣ヲ主テ火ヲ恐ル 土ノ性ハ潤中ニ

居ス肢ヲ主テ火ヲ恐ル 火ノ性ハ炎上ス若シ房勞スハ水ヲ養ハズ火ヲ

オソル少ク金ヲアナル肺火邪ヲ得テ熱ス 木ノ性ハ剛急ナリ肺熱邪ヲ

ケ金養ス木ヲ恐ル少ク土ヲアナル脾木邪ヲ得テマフル 右カク

久肺熱スハ一身ヲイトナメス脾傷テ手足用之ズノ諸ノ痿病ヲ云ル  
痿ノ治例 火ヲ瀉メ金ヲ涼フセヨ金涼シテハ木平ナリ木平ナハ脾ノ傷ナリ  
水ヲ補イ火ヲ降セ火ヲ多シハ金虚セシメ肺ヤル事ナリ痿ノ證ハ  
足ル者ハ陰ナリ血ナリ陰ヲ補イ血ヲ多セハ必イユ俗方ニ參陽ヲ補シ氣  
ヲ補ス何シテ實々虚々ノ患ヲメカシヤ

痿之治方

清燥湯 濕熱痿トナル 金濕熱ノ邪ヲ去リ水ヲニカニシテ絶シ腎虚ノ痿  
病大ニ發リ腰ヨリ下ニテ動セザルヲ治ス 黃耆 蒼朮 白朮  
澤瀉 五味子 人參 白茯苓 升麻 麥門冬 當歸 橘皮  
麴末 猪苓 黃蘗 柴胡 黃連 甘草 右判前ノ服ス  
牛膝丸 腎肝損ノ骨ナエ居ナラス筋弱クノ扱持セザルヲ治ス 精ヲミ中  
ヲユルクス 牛膝 革薢 杜仲 蒺藜 防風 鬼絲子  
茯苓 各等 官桂 糝 右末ノ酒ノ糊ニテ丸ノ空心ニ酒ニテ用ヘシ

四氣ノ見證 風勝胃ニ入ハ脈必浮血糞前糞後ニ有藏ニ寒ヤツテ下血ス

六腑沉微ヲ痛無多下ル 積熱ノ者ハ脈洪數ヤサカナル血ヲ下シ痛アリ  
濕ニ侵ヒテハ脈沉遲血ヲ下ス豆汁ノ如シ能分別ノ可療治

鮮紅ハ熱トナスノ說 内熱毒ヲツミ毒氣腸胃ニ入或ハ酒ヲ過シ魚鳥ヲ食  
シ是ニ依テ血ヲ引キ大腸ニ入故ニ紅ナル血ヲ下ス一味ノ黃連丸ヲ佳リトス

瘀血ヲ下ハ寒トナスノ說 血逐氣ハ沉ニテ冷氣腸胃ニ入故ニタマリ血ヲ下  
理中湯ノ類ニテ温散スベシ

治例 專ラ寒藥許ヲ用ケル寒藥ノ中ニ辛味ヲ佐トセヨ久シク愈ル者ハ  
後ニ分舉ノ藥ヲカキ其中ニ酒ニ浸シ炒リアブリタル涼藥ヲ加ヨ 熱有ハ

四物湯ノ類ニ拖子外麻ヲ加ヨ 虚セハ温散セヨ四物湯ノ類ニ乾薑外麻ヲ  
加ヨ 打撲ノ惡血腸胃ニ入下血シ濁テ瘀ノ如クナラバ黑神散ヲ用ヘシ 糞前

ニ血ノ下ルヲハ近血ト名付石榴皮ヲ用ヨ 糞後ニ血ノ下ハ遠血ト名付艾葉  
ヲ用ヨ 亦林カ云下血ハ血藥ヲ用テ單ニ行ヒ單ニ留ヘカラス

下血之治方 槐花散 腸ニ風有テ毒ヲカクメ下血スルヲ治ス 槐花 栝葉 荆芥  
枳殼 各等 右末ノ空心ニ米飲ニ用

全九集四

槐花丸 腸風下血脱肛ノ下血并ニ痔ヲ治ス 槐角一兩 枳殼 地榆

黃芩 當歸 防風 右末ノ酒ノ糊ニテ丸ノ米飲ニテ用ベシ

阿膠湯 傷寒ノ熱毒胃ニ入テウミ血ヲ下スヲ治ス 黃連二兩 施子兩

阿膠 黃柏各兩 右剉煎シ服ス

聚金丸 腸胃ニ熱積リ或ハ酒毒ニヨリ下血ノ膿イタニ熱渴ノ脈弦數ナル

ヲ治ス 黃連四兩 黃芩 防風各二兩 右末ノ麩ノ糊ニテ丸ニ快散ヲ浸シタル

水ニテ用ベシ 久々大黃一兩ヲ加ヨ

龍肝湯 遠血ヲ治シ又吐血衄血ヲモ治ス 伏龍肝半 甘草 白朮

阿膠 黃芩 地黃各二兩 右吹咀ノ煎服ス

血ヲ下ス事二十年ニ餘ルヲ治ス 地榆 鼠尾草各三兩 右水二分煎シ滓ヲ

去リ頓ニ服スベシ

腰痛門

巢氏力五種ノ腰痛 陽氣不足ニ少陰ノ經腎虛シテ腰痛ム 風寒濕腰

ニ著シ痛ム 勞後過房腎ヤフテ痛ム 車馬ヨリ落テ或高キ所ヨリヲ

ナテ腰ヲ打傷リ痛ム 濕地ニヨキフシヲシ 濕ニオカサレ痛ム

素問六經之腰痛 太陽ノ腰痛ハウナシセホ子尻ニ引キ背オモシ 陽明ノヨリ

痛ム左右ハ方子ヲミラテ強ク悲ム 少陽ノ腰痛ハ鈿ニテ皮ヲ穿ス如ク恍惚セ

ラズ 大陰ノ腰痛ハ熱シツカレニ横木アルカ如ク遺尿ス 少陰ノヨリ痛ム

ホ子ノ内角ニ引ク厥陰ノヨリ痛ムハ引リ号ノ如ク黙々ト心ハズ

素問二脾胃ノ兩熱腰痛ヲイタス 說脾ニ熱戰フトキハヨリ痛ム恍惚セラシズ腹

滿シ泄ス腎ニ邪熱有ハニ痛ム三脛ヒヒ舌乾ク且人ノムニ身ノ大關六經ノ懸

ル所虛多ク實少ク或房勞シ虚スハ邪入テ以テ痛ヲナス

脈辨 尺脈沉弦ハ腰背ノ痛ニヨリ痛ム膝ハ皆沉シ弦ナリ 沉弦ニ實ハ閃挫トナ

ナリ 沉弦ニ時ニ浮ナル風也 沉弦ニ細ニ濕ナリ 沉弦ニ實ハ閃挫トナ

治例 寒濕ノ腰痛ハ熱ヲミテ減シ寒ヲミテ増ス五積散ヲ用テ杜仲 呉茱

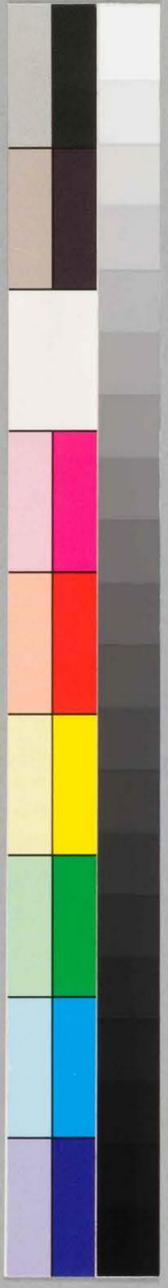
萸ヲ加ヨ 中濕ノ腰痛ハ水中坐スルカ如ク滲濕湯 腎虛ノ腰痛ハトコカユ

リナラズ 大建中湯ニ茴香ヲ加ヨ 閃挫ノ腰痛通氣五積散ニ桃仁牽牛

ヲ加ヨ 脈澹トス瘀血トス 補陰丸ニ桃仁紅花ヲ加ヨ 痰ニ依テ痛ム

二陳湯 諸痛ハ火ニ屬ス強ク寒藥ヲ用ゼ温散ヲ加ヨ 諸痛ハ人參ヲ用ガ

レ氣ヲ補フ故ナリ氣旺シ通セザバ痛ニイヨク甚シ



腰痛之治方

五積散 寒濕腎經ヲヤブリ腰痛ニ俛仰せられザルヲ治ス 白芷

芍藥 乾薑 厚朴各兩 陳皮 枳殼各三 桔梗 當歸 麻黃

半夏兩 川芎 肉桂各三 甘草一分 蒼朮二 右剉煎シ用

立安丸 五種ノ腰痛ヲ治シ腎ヲ補イ腰脚ヲスツヤカニス 破故紙

木瓜 杜仲 牛膝 續斷各 草薢二 右末ニ鹽湯ニテ送下ス

蒼朮湯 濕熱ニ中リ腰腿疼痛スルヲ治ス 蒼朮 五錢 紫胡 行經

防風 一錢半 黃柏 一錢半 除溫止痛 右剉煎シ用ベシ

大黃湯 打撲ノ腰痛瘀血痛テ甚レキヲ治ス 大黃 生薑 各切如豆

右同炒リ黃色ニシテ水升ニ浸シ宿ノ曉カスヲ去リ頓ニ服ス夜明テ鳥ノ肝ノ

如ナル物ヲ下シ愈エ

獨活寄生湯 風腎經ヲヤブリ痛ヲ止クカ如ク久治セズ脚膝偏カレ冷痺

緩弱ナルヲ治ス及ヒ婦人新産シ腰脚ニキツリ痛ムニヨリ風ヲ去リ血ヲ治ス

獨活 桑寄生 續斷 白芍藥 細辛 桂心 川芎 防風 人參

當歸 秦朮 中膝 茯苓 杜仲 炒甘草 右證ニレカヒ加減

剉煎シ空心ニ用

滲濕湯 寒濕ニ中リ身ヲモク水中ニ坐スル如ク小便澀リ大便澀スルヲ治ス

蒼朮 陳皮 丁子 茯苓 乾薑 甘草 右剉煎シ食前ニ温服ス

通氣散 氣宜流シテ腰脚ヲ打撲シ氣トムホルヲ治ス 茴香 木香 各一

甘草 穿山甲 一分 白牽牛 炒 延胡索 兩 陳皮 兩 右末ニ酒ニ用

肝肺左右辨

肝血左ノ脈ニ蓄シ塊ヲナシ痛ム者

肺氣右ノ脈ニ蓄シ痞硬ノ咳喘スル者公肺積ト云

脇痛之治方

枳殼散 脇痛ノ物アリテサカ如クナルヲ治ス是氣ナリ 枳殼 二兩

甘草 七 右細末ニ葱白湯ニ調下ス

枳實散 兩脇ニ痛シ治ス 枳實 兩 白芍藥 川芎 人參 兩 右末ニ薑棗

ヲ入前シ空心ニ用

加味柴胡湯 傷寒ノ脇痛ヲ治ス 柴胡 黃芩 鱈 人參 半夏 各一

牡蠣 枳殼 炒 甘草 銚 右剉煎シ食後ニ服ス

濁瀉門

劉河間論

赤白濁下白濁ハ皆熱ナリ清水ヲ湯トス時ハ自レ夏ハ主カ  
ヲイテ水濁リ冬ハ主カタクソ水ス此ノ理尤モ當レリ赤濁ハ腎虛ノ膀胱ニ  
火盛ナル故ニ濁赤ヲ瀉リ此故ニ濁下丸是ハ腎水虚ノ升運ノ火ヲ制セサル依テ  
自ラ濁下丸

赤白本 赤濁ノ者ハ血ニ屬ス心虚ノ熱ニ思慮ニ依テ得テ多ク白濁ノ者ハ氣ニ  
屬ス腎虚ノ寒ニ房勞ノ得テ多ク

脾濁ノ本 思慮過テ脾ヲモリ脾ニ虛熱ヲ生ジテ土邪水ヲ侵ス故ニ尿ニ  
夏ハ主カ乾テ水ニルノ類ナリ

治例 熱有ラハ滑石黄蘗ノ類ヲ用ヅ 胃弱キ者ハ人参ヲ用柴胡升麻ニテ  
胃ノ氣ヲ升セヨ 肥タル人ノ尿濁ハ多ク痰ナリニ陳湯ヲ濕ラセ 赤キ  
者ハ心ヲ涼ラスニ白芍藥ノ類ニ早者ハ下元ヲ補ヘ益智苜蓿ノ類ニ心  
虚ニ熱ノ濁ハ麥門冬蓮肉地黄牛膝茯苓遠志ノ類ニ思慮ニ脾ヲ  
精ヲ攝セシヒヤク濁セハ厚朴ノ類ニ過勞腎虚ノ尿トクハ益智曲  
香非子地黄白芍藥龍骨ノ類

尿濁之治方  
清心飲 心中ニ客熱アリ煩燥シヤカク濁ルヲ治ス 白茯苓 蓮肉各一  
益智 遠志 麥門冬 人参 石葛 車前子 白朮 澤瀉  
甘草 鱉 右剉燈心ス煎シ食前ニ用  
蓮肉散 小便シロク濁リ夢中ニ精ヲ漏スニ用 連肉 益智 龍骨  
右細末ノ米飲ニ用  
通靈散 心氣不足シ小便赤ク滑カニ或ハ白濁ヲ治ス 茯苓 益智  
白朮 右細末ノ白湯ニ調下ス  
澤瀉散 心經暑ニアラシ小便赤ク濁ルヲ治ス 人参 白朮  
赤茯苓 香薷 澤瀉 猪苓 蓮肉 麥門冬 各等 右剉煎シ服ス  
茯苓丸 思慮過テ心腎虚損シ潮熱瀝アツテ白ク濁リ夢中ニ精ヲ漏スヲ治ス  
兔絲子 兩 蓮肉 兩 右細末ノ酒ノ糊ニ丸シ鹽湯ニ下ス  
半夏丸 白濁ヲ治シ神効アリ  
半夏 溫 猪苓 粉 右末ノ丸シ用 若シ肝熱ナラズ青黛ヲ加ヨ  
蓮子六一湯 心熱シヤカク濁ルヲ治ス 石蓮肉 兩 甘草 兩 右末ノ空心燈

全方集四  
手二

心湯ニテ調下ス

遠志丸小便赤濁治ノ神變音特ナリ 遠志梓 甘草水ニ浸シ心ヲ去ル  
益智兩 右抹ノ麩ニテ丸ニ臨時ニ棗湯ニテ用ベシ

遺溺門

内經ニ曰膀胱利セザバ癃ヲ生シ約セザバ遺ラナスト。又曰下焦ニ血ヲタケル  
ニ虚勞シ内換スバ小便自ラ遺ヲ知ラズ。下焦虚寒ニ水液ヲ温制スルユ  
ト。アタワカシバ小便多ク流シイツ

仲景カ脉法ニ曰ク寸口脉微ラ瀦 微ハ胃ノ氣不足ノユカズ。瀦榮血ノ不  
足ナリ。榮衛調ラセバ三焦通シテ其部クニ歸スルナリ。上焦歸セザバ

ヲ出テ中焦歸セザバ穀ヲ消シ飲ヲ引クナレ下焦ニ歸セザバ遺  
尿失禁スルナリ。治法ハ元氣ヲ補ヒ心ヲ涼シ房事ヲ遠クスベシ

治例 内虚ニ自汗スルニ秘元丹 非子丸ノ類 内虚ニ濕熱アルニ六味地  
黄丸 八味圓ノ類 老人ハ八味圓宜シ。去リナカラ澤瀉ヲ除ケ

凡遺尿ハ小腸膀胱ノ陽氣衰脱スル故ナリ 龍骨地黄益智鹿茸辰砂ノ  
類是ヲ丸ニ食前ニ鹽湯ニテ用ベシ若シ虚熱ノ骨イキハ黃芩地黄白朮  
藥ノ類ヲ麩抹シ煎シ食後ニ用ヨ

遺尿之治方

秘元丹 内虚寒シ冷氣心ヲ苦 脹滿泄瀉汗イテ遺尿シ足ヒユラ治ス

龍骨兩 訶子十 縮砂一 辰砂分 右細末ニ糯米ノクニテ丸ニ用葱茶

オム

家韭子丸 下元虚冷シ小便多ク或自濁ヲ治シ。元氣ヲ補ヒ飲食ヲ進ム

家韭六 鹿茸四 菴蓉 牛膝 地黄 當歸全 巴戟 兔絲子 各一

杜仲 石斛 桂心 乾薑 各二 右末ニ酒ヲ糊ニテ丸ニ鹽湯ニテ用ベシ

益智丸 遺尿シ及ビ小便多ク或糸ヲ出シ治ス 益智兩 龍骨四 牡蠣半

川烏頭 去皮半兩 炒黃色 右細末ニ酒ノ糊ニテ丸ニ空心ニ草解湯ニテ用ベシ

阿膠丹 小便遺失スルヲ治ス 阿膠炒 牡蠣 鹿茸 炙 桑螵蛸 炙

右等分末ニ糯米ノ糊ニテ丸ニ空心ニ鹽湯ニテ用ユ

一方ニ 桑螵蛸 炙 白龍骨 分 右末ニ每服ニ錢七空心ニ鹽湯ニ調下ス

一方下元虚寒シ遺尿スルヲ治ス 中極ノ穴ハ臍ノ下四寸ニアリ

關元ノ穴ハ臍ノ下三寸ニアリ 右各三五壯ハカリヲ灸スベシ

29  
3702

全九焦卷之四終

